

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①~④を踏まえた、具体的な方針について記載

①地域において今後担うべき役割

「市民に奉仕する医療」という当院の基本理念に沿って、公立病院として医療を通じて、住民の健康と福祉の増進を図ることを責務とし、次の役割を担う運営を行っていきます。

- (1) 周南西部地域の中核的な二次医療機関として、急性期医療などの質の高い医療を提供する役割
- (2) 安心して受診できる市民のための「地域病院」としての役割
- (3) 介護老人保健施設、訪問看護ステーション等と連携・協力した医療、保健、福祉の地域包括ケアシステムにおける、地域包括ケア病床を有する中心的な病院としての役割
- (4) 疾患別地域連携パスを活用し、地域における病病・病診の医療連携を強化する役割
- (5) 自由に参加できる勉強会等を開催し、市民の“医療と健康”への意識を啓発する役割
- (6) 二次救急医療に係る病院群輪番制病院としての役割
- (7) 中山間地域・離島の医療体制確保等の地域医療の充実を担う役割
- (8) 災害発生時における医療救護活動及び市の出動要請による医療救護班の派遣
(「周南市立新南陽市民病院新改革プラン」より抜粋)

今後、いわゆる団塊世代が全て75歳以上となる平成37年には、高齢社会の進行に伴い、より効率的で質の高い医療提供体制を構築することが必要になってくると予想されます。

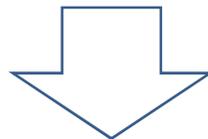
当病院では自治体病院として、上記責務の中でも(2)の「地域病院」や(4)の「地域における病病・病診の医療連携」の役割を強化することによって地域住民から信頼され、利用され続ける病院であることを念頭に、高齢社会に対応し、圏域の住民の健康と福祉の増進を図っていきます。

地域住民の「健康管理」の段階から関わり、健康寿命延伸のため、糖尿病をはじめとする生活習慣病の早期発見・早期治療に繋がる「健診事業」の充実整備の取組みを推進していきます。

また、糖尿病性腎症の重症化等で増加が予想される「人工透析」治療の需要に対しては、他の医療機関と連携し、地域における受け皿拡大の取組みを進めていきます。

②今後持つべき病床機能

現在の急性期病床150床（一般病床：120床、地域包括ケア病床：30床）を維持し、地域の医療に対応していきます



現在の急性期病床150床（一般病床：120床、地域包括ケア病床：30床）を、一般病床：100床、回復期病床50床（地域包括ケア病床）に変更し、地域の医療に対応していきます

周南市立新南陽市民病院 2025 プラン 変更点

資料 2-3

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 機能ごとの病床のあり方について

< 今後の方針 >

現在、将来の病床数欄は、平成 30 年度病床機能報告予定数値を記入

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	150		150 100
回復期			50
慢性期			
休棟等			
(合計)	150		150
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

② 診療科の見直しについて
(該当無し)

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：90.0% ・ 紹介率：70.0% ・ 逆紹介率：50.0% <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収支費率：97.1%
--

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】
(自由記載)

特になし
